

ダイヤモンド就活ナビ2021 就職モニターレポート2月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2021年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 710名
- ◆調査期間 2020年2月7日（金）～2020年2月17日（月）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	理系
566名 (79.7%)	144名 (20.3%)

【回答の多かった学生】

早稲田大学、立教大学、日本大学、中央大学、明治大学、関西学院大学、関西大学、同志社大学、東洋大学、立命館大学、関西外国語大学、神戸大学、上智大学、法政大学、明治学院大学、横浜国立大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	78	11.0%
東北エリア	10	1.4%
関東エリア	298	42.0%
甲信越エリア	8	1.1%
東海・北陸エリア	50	7.0%
関西エリア	216	30.4%
中・四圏エリア	44	6.2%
九州・沖縄エリア	6	0.9%
総計	710	100.0%

<就職活動状況>

現在の採用選考の進捗状況トップは「エントリーシート提出」(56.7%)、平均提出社数3.1社。
就職活動の準備状況は「自己分析」(67.9%)がトップ。

<志望業界・企業選択の基準>

志望業界が決まっていると8割以上が回答。
志望業界トップは「メーカー」(51.9%)。
企業選択の基準上位は「社風がよい」(60.8%)、「仕事に魅力を感じる」(57.6%)。
入社選択企業規模トップは「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」(43.4%)。

<インターンシップ参加状況>

インターンシップ参加率は75.2%。半数以上が5社以上のプログラムに参加。
参加の為に選考は62.6%が経験し、時期は冬(12~2月)が64.8%でトップ。
一番多い選考形式はエントリーシート(91.0%)。
選考の為に対策は「自己分析」(53.3%)がトップ。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

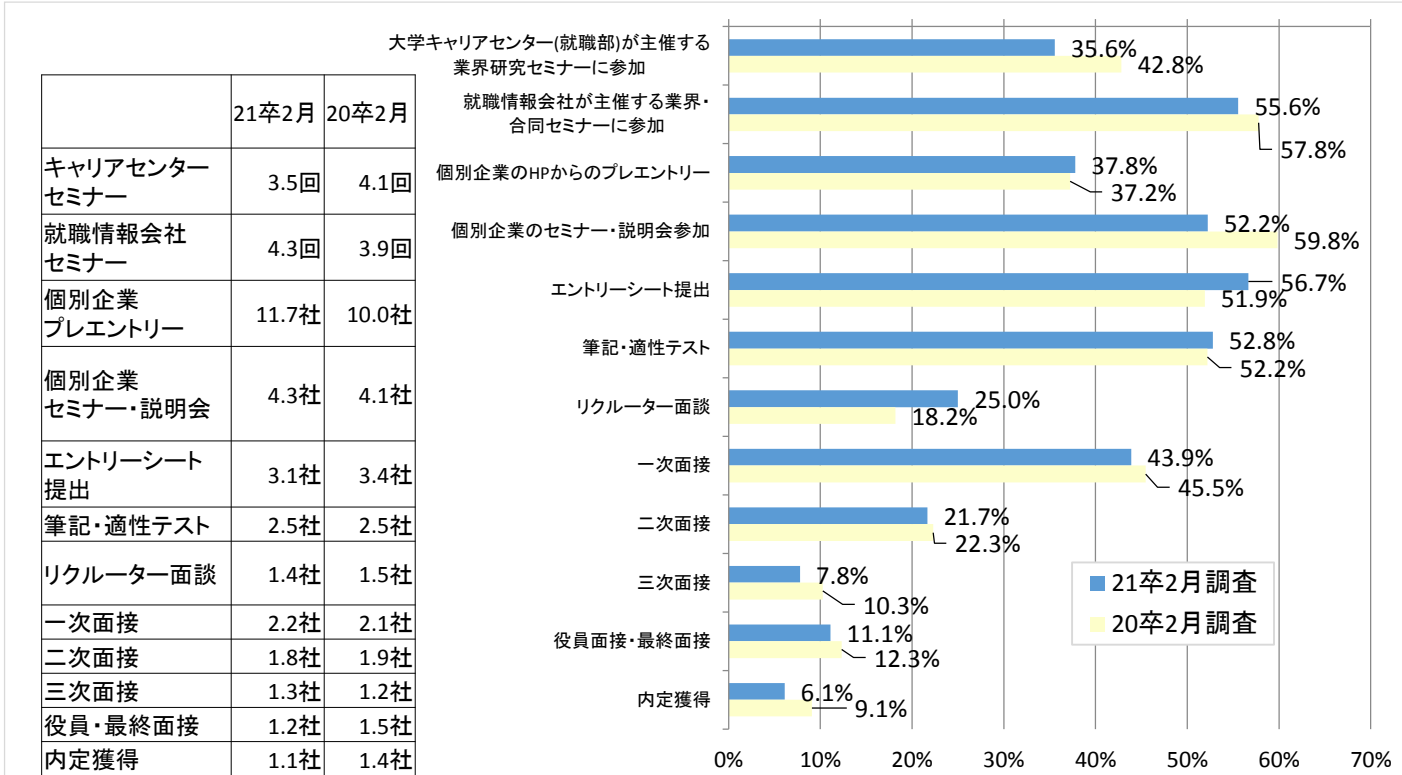
経営企画室

TEL : 03-5319-2450

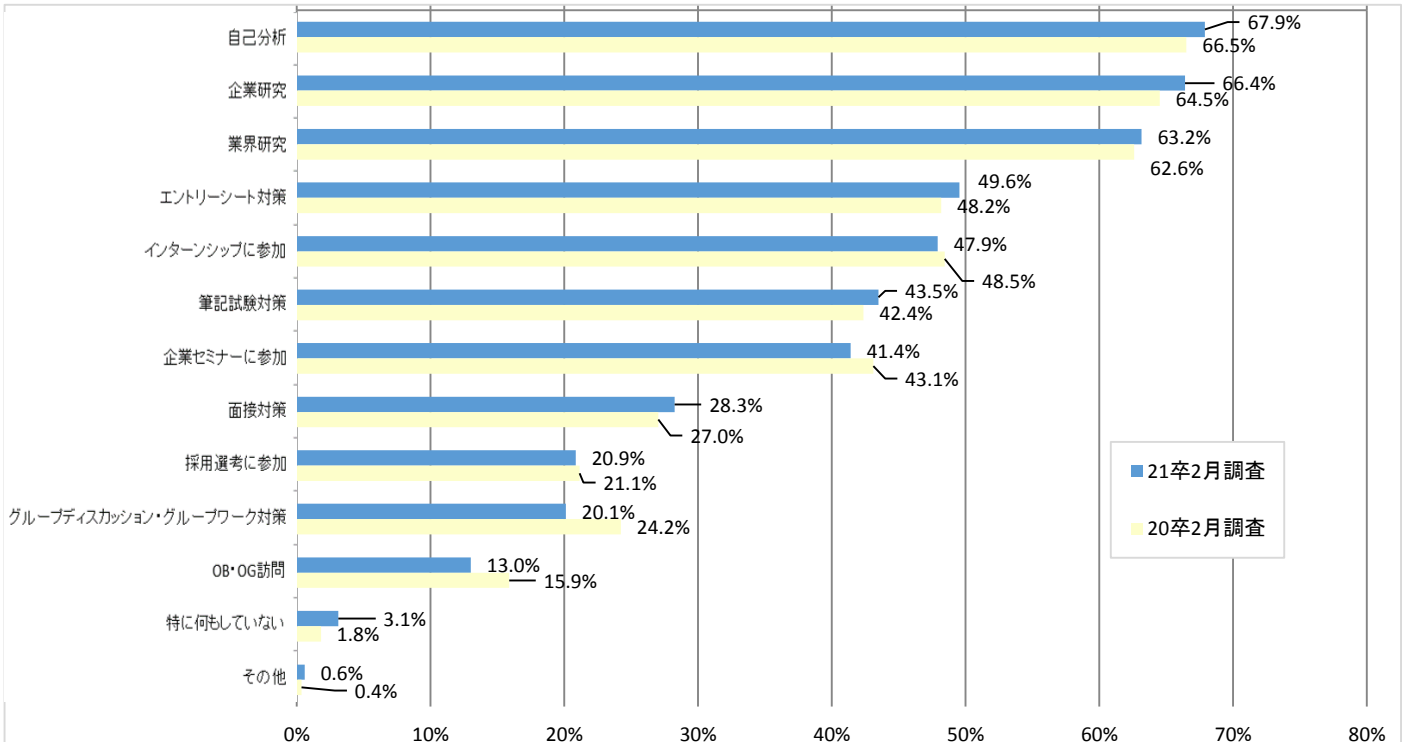
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の状況

◆現在の採用選考の進捗状況について、当てはまるものを全て選択してください



◆今の就職活動の準備状況について当てはまるものを全て選択してください。



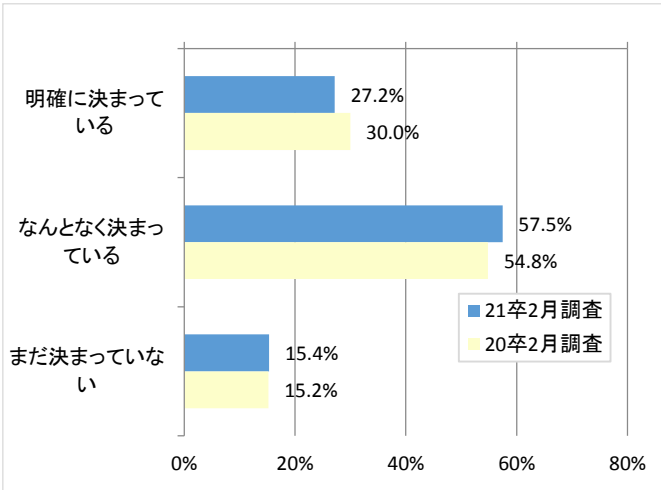
採用選考の進捗時は「エントリーシート提出」が「個別説明会参加」を上回りトップに。

就職活動の進捗状況は「エントリーシート提出」(56.7%)が最も多く「就職情報会社の主催する業界・合同セミナー」(55.6%)、「筆記・適性テスト」(52.8%)と続き、昨年 59.8% と最も多かった「個別企業のセミナー・説明会」(52.2%)を逆転する結果となった。

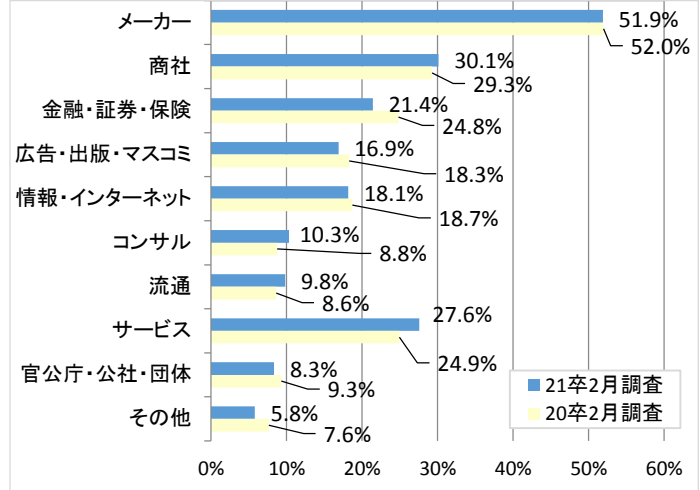
就職活動の準備状況については「自己分析」(67.9%)がトップで、その次に「企業研究」(66.4%)、「業界研究」(63.2%)が続いている。3つとも昨年より数値が増加し、就職活動早期のうちにより準備する学生が増加していると考えられる。

志望業界・企業選択の基準

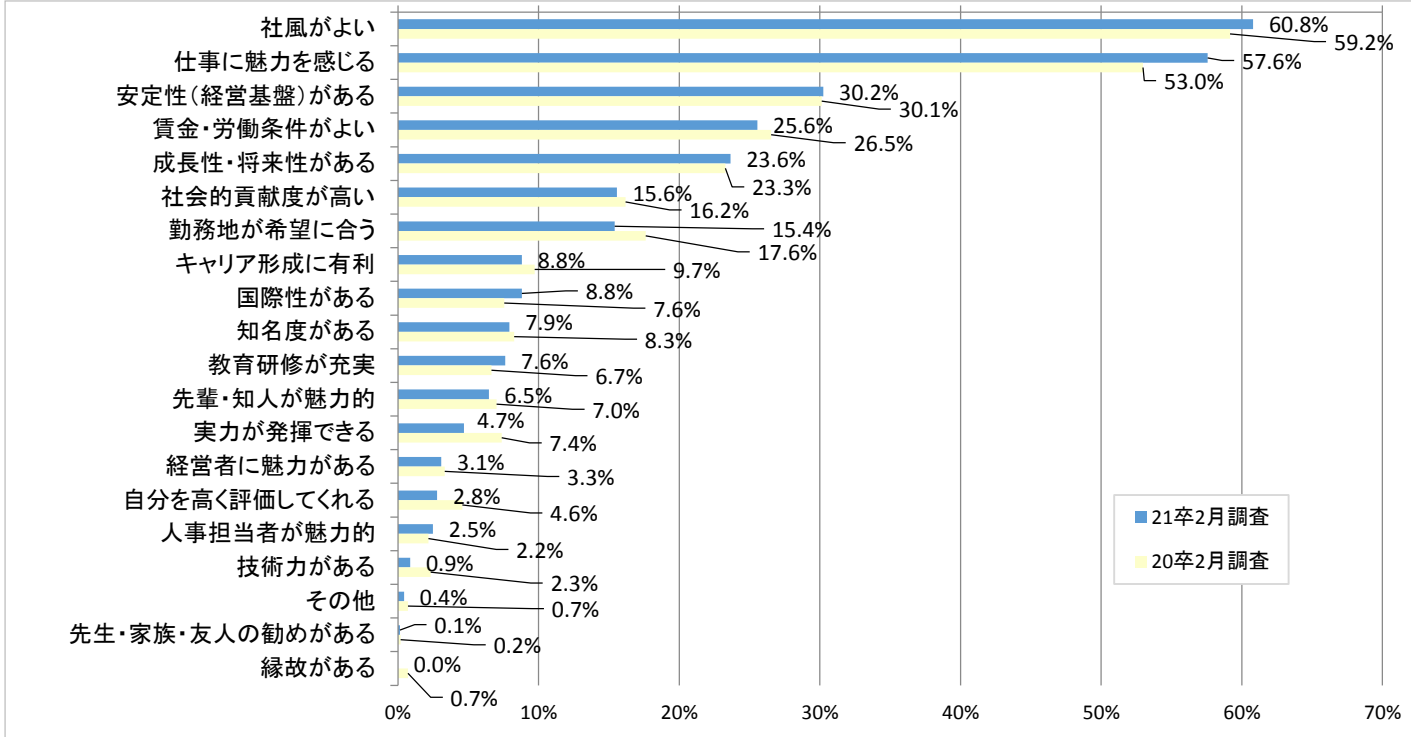
◆志望業界は決定していますか？



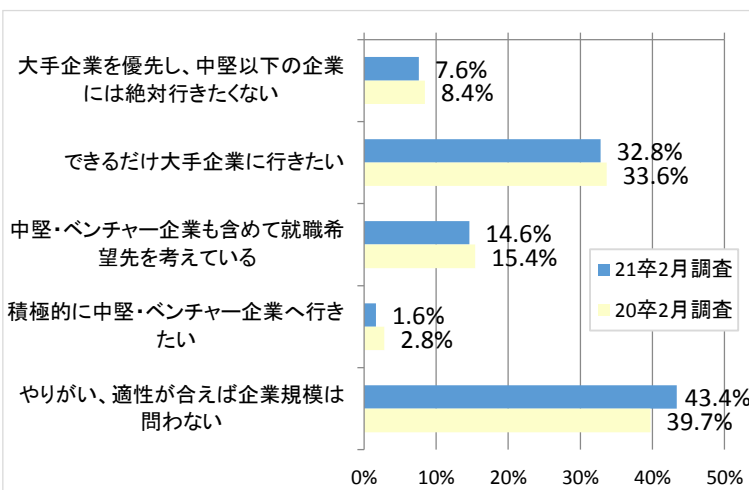
◆志望業界を教えてください。



◆企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものを3つお答えください。



◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。

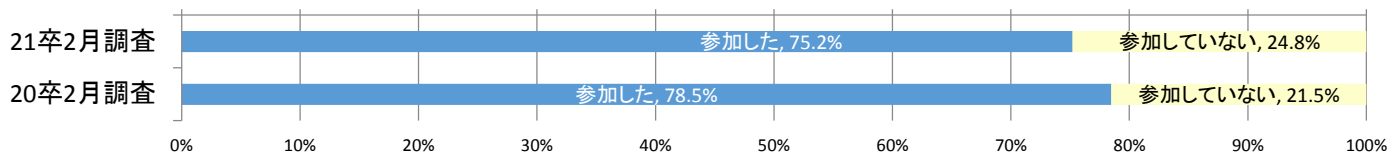


志望業界について8割以上が「決まっている」と回答。入社企業の選択トップは「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」

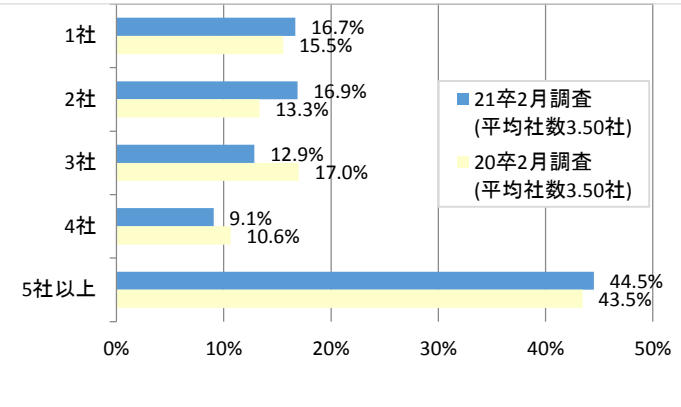
志望業界について「明確に決まっている」(27.2%)、「なんとなく決まっている」(57.5%)と合計で8割以上もの学生が決まっていると回答。志望業界は「メーカー」(51.9%)がトップで、その次に「商社」(30.1%)、「サービス」(27.6%)が続く。企業選択の基準は「社風がよい」(60.8%)がトップで、これと近い数字は「仕事に魅力を感じる」(57.6%)が続く。入社選択企業規模の基準は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」(43.4%)が最多、次が「できるだけ大手企業に行きたい」(32.8%)となった。

インターンシップ参加状況

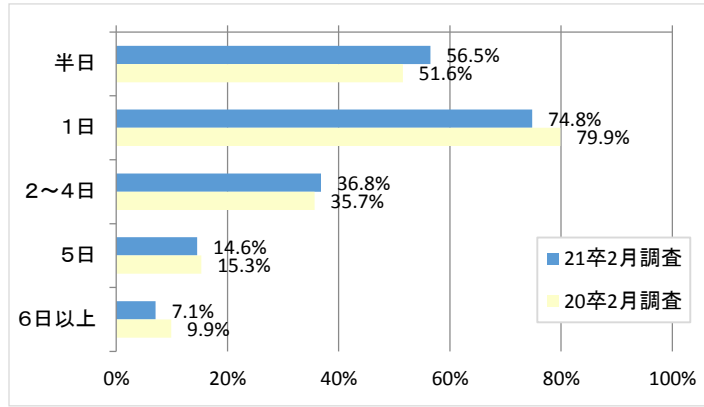
◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



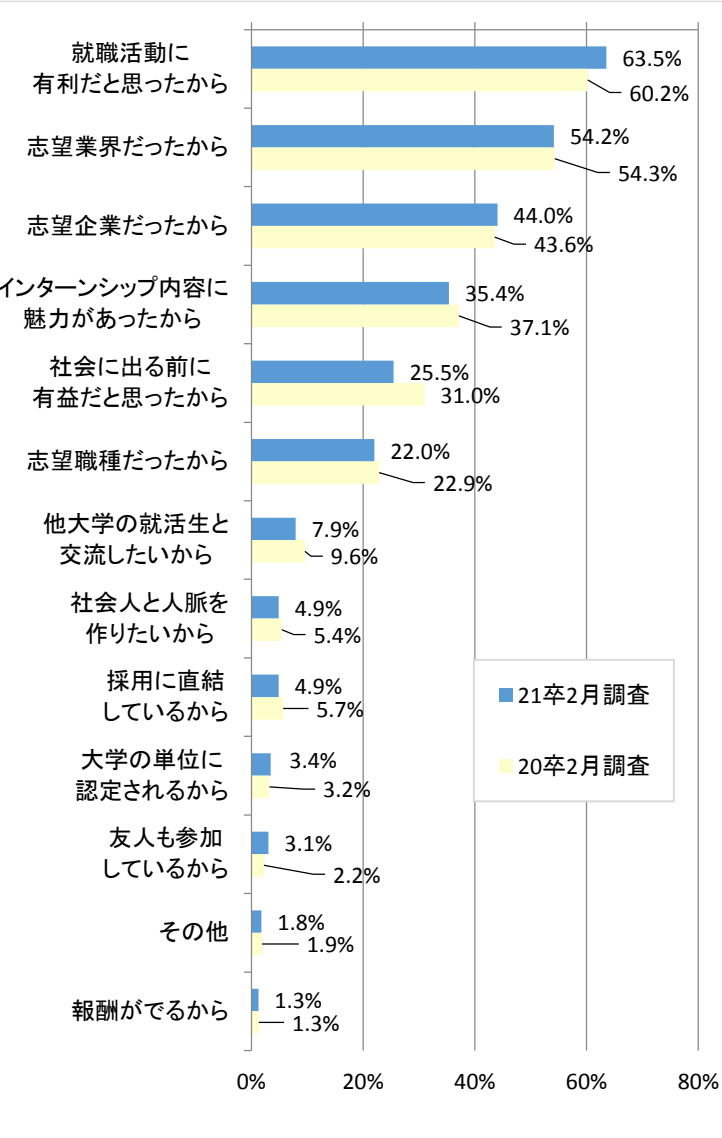
◆インターンシップには何社参加しましたか？



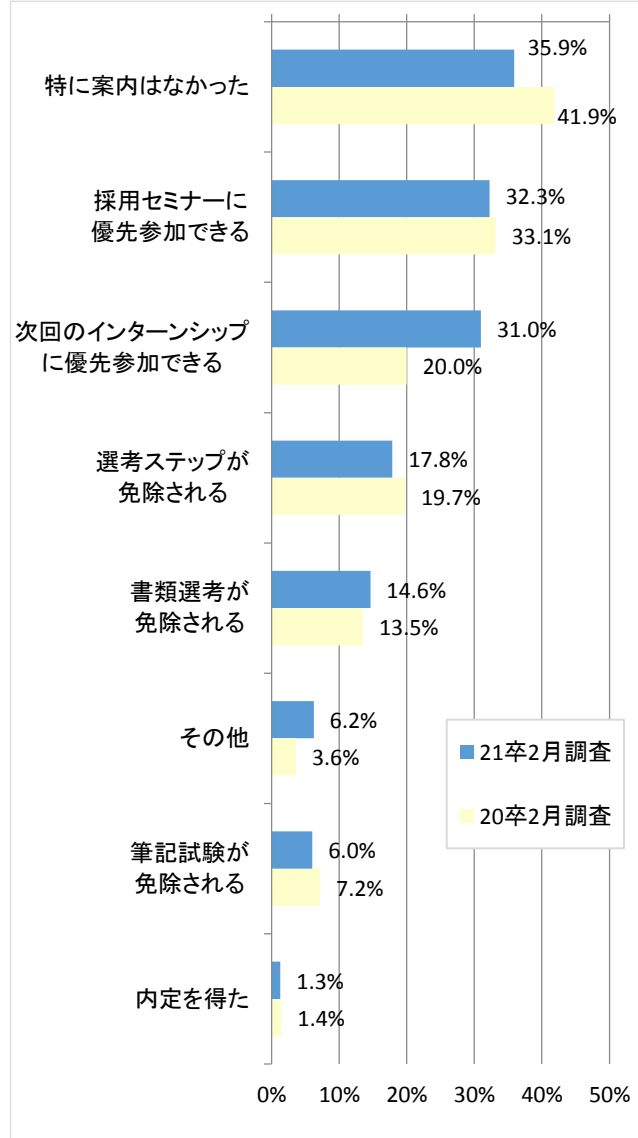
◆インターンシップの参加日数を教えてください。



◆インターンシップへの参加理由を教えてください。



◆参加後に採用選考の優遇案内を受けましたか？



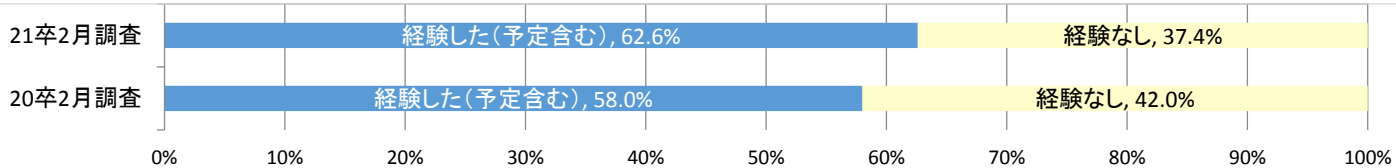
インターンシップは「参加した」が75.2%、「1日未満」が多く、平均3.5社、半数近くが「5社以上」のプログラムに参加。

参加者への優遇案内は「採用セミナー」「次回のインターンシップ」への優先参加がそれぞれ3割。

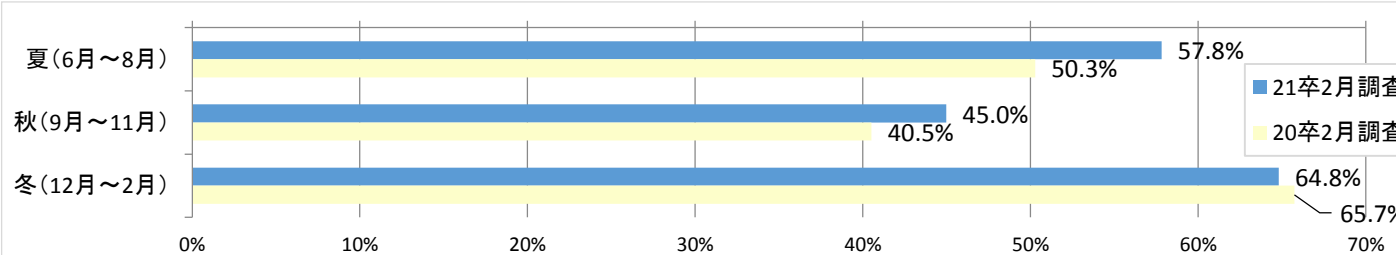
インターンシップへの参加状況は「参加した」が75.2%と、4人に3人が参加している。参加日数は「半日」56.5%、「1日」74.8%と期間の短さが参加社数の多さに影響しているようだ。

参加後の優遇案内は「なかった」が最も多いが、「採用セミナー」(32.3%)「次回のインターンシップ」(31.0%)とそれぞれ3割優先参加の案内を受けている。

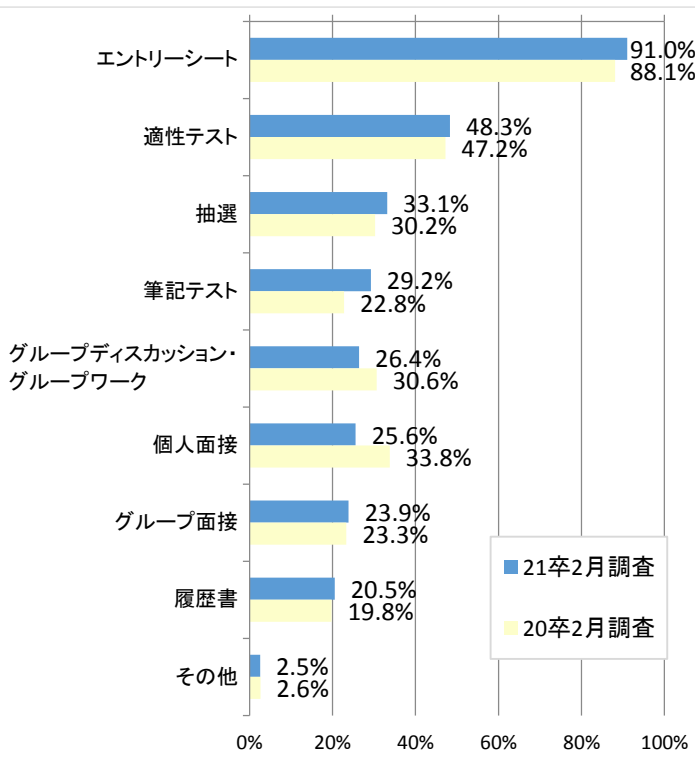
◆インターンシップ参加のための選考は経験しましたか？



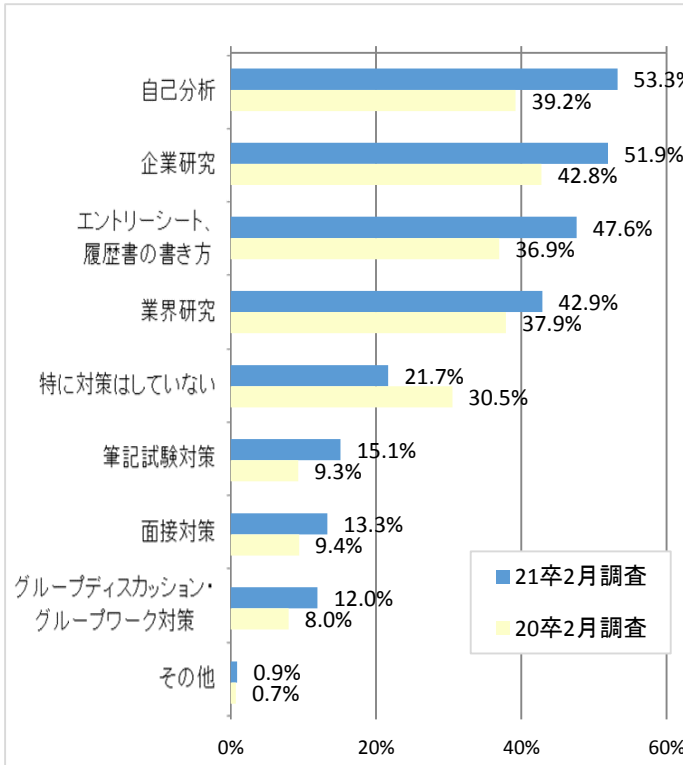
◆インターンシップ参加のための選考を経験した時期は？



◆それはどのような選考でしたか？



◆選考のためにどのような対策を行いましたか？



インターンシップ選考を経験した時期は「冬(12月～2月)」が64.8%。「夏(6月～8月)」「秋(9月～11月)」も増加傾向へ。

インターンシップに参加するための選考を「経験した(予定含む)」のは62.6%と、前年の58.0%より4.6ポイント増加した。インターンシップに参加するための選考を「経験した時期」は前年同様「冬(12月～2月)」64.8%と最も多いが、「夏(6月～8月)」(50.3%→57.8%)、「秋(9月～11月)」(40.5%→45.0%)と早期のプログラムで選考を経験する学生も増えているようだ。選考の形式は「エントリーシート」(91.0%)が最も多く、その次に「適性テスト」(48.3%)、「抽選」(33.1%)が続く。選考対策は「自己分析」(53.3%)が今年最も多く、昨年の39.2%に比べ14.1%も伸びている。次に「企業研究」(51.9%)と続き、早い時期から自己分析と企業研究にコツコツ力を入れているといえる。